

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
101	Resuscitation	The effects of pre-arrest heparin administration dose for cardiac arrest model using extracorporeal lung and heart assist (ECLHA) in dogs.	Keisuke Ichinose	中央手術部
102	JMRI	Evaluation of diffusion-weighted imaging for the differential diagnosis of poorly contrast-enhanced and T2-prolonged bone masses: Initial experience.	林田 佳子	中央放射線部
103	Acta Oncologica	Concurrent chemoradiation therapy with low-dose CDDP and UFT for glottic carcinomas: evaluation using the sixth edition of the UICC TNM staging	村上 龍次	中央放射線部
104	Acta Radiol.	Usefulness of measurement of the temporal stem on magnetic resonance imaging in the diagnosis of frontotemporal dementia.	林田 佳子	中央放射線部
105	European Radiology	Multidetector-row CT and quantitative gated SPECT for the assessment of left ventricular function in small hearts: the cardiac physical phantom study using a combined SPECT/CT system.	宇都宮 大輔	中央放射線部
106	AJR	Cardiac 16-MDCT for anatomic and functional analysis: assessment of a biphasic contrast injection protocol.	宇都宮 大輔	中央放射線部
107	AJR	Simulation of aortic peak enhancement on MDCT using a contrast material flow phantom: feasibility study.	粟井 和夫	中央放射線部
108	診断病理	下顎の顆粒細胞型エナメル上皮腫の1例	本田由美、石原園子、猪山賢一	病理部
109	日本臨床細胞学会九州連合会雑誌	体腔液中にみられた空腸原発内分泌細胞癌の1例	田上さやか、徳永英博、本田由美、猪山賢一	病理部
110	CHEST	Microscopic-Sized "Microthymoma" in Patients With Myasthenia Gravis.	Mori T, Nomori H, Iyama K,	病理部
111	Jpn J Clin Oncol	Three Cases of Multiple Thymoma with a Review of the Literature.	Mori T, Nomori H, Iyama K,	病理部
112	Experimental Hematology	In vitro transdifferentiation of adult bone marrow Sca-1+c-kit-cells cocultured with fetal liver cells into hepatic-like cells without fusion.	米村 雄士	輸血・細胞治療部
113	Biocybernetics and Biomedical Engineering,	Ubiquitous tele-echography system : downsized wearable ultrasound probe with distributed processor and displays.	末永 貴俊	医療情報経営企画部
114	Journal of Neurovirology	Clinical symptoms and the odds of human T-cell lymphotropic virus type 1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis (HAM/TSP) in healthy virus carriers: application of best-fit logistic regression equation based on host genotype, age, and provirus load.	宇宿 功市郎	医療情報経営企画部
115	Immunogenetics	Genetic variability in the extracellular matrix protein as a determinant of risk for developing HTLV-I-associated neurological disease.	宇宿 功市郎	医療情報経営企画部
116	BMC Med Educ.	Quality of Care Associated with Number of Cases Seen and Self-reports of Clinical Competence for Japanese Physicians-in-training in Internal Medicine.	Hayashino Y, Fukuhara S, Matsui K, Noguchi Y, Minami T, Bertenthal D, Peabody JW, Mutoh Y, Hirao Y, Kikawa K, Fukumoto Y, Hayano J, Ino T, Sawada U, Seino J, Higuma N, Ishimaru H.	総合臨床研修センター

小計16

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
117	J Neurosurg.	Phase II study of nimustine, carboplatin, vincristine, and interferon-beta with radiotherapy for glioblastoma multiforme: experience of the Kyoto Neuro-Oncology Group.	Aoki T, Takahashi JA, Ueba T, Oya N, Hiraoka M, <u>Matsui K</u> , Fukui T, Nakashima Y, Ishikawa M, Hashimoto N.	総合臨床 研修センター
118	J Eval Clin Pract	Clinical prediction rules for bacteremia and in-hospital death based on clinical data at the time of blood withdrawal for culture: an evaluation of their development and use.	Nakamura T, Takahashi O, <u>Matsui K</u> , Shimizu S, Setoyama M, Nakagawa M, Fukui T, Morimoto T.	総合臨床 研修センター
119	Gen Med.	The Number of Lives Saved and Quality adjusted Life Years Prolonged by Ticlopidine Hydrochloride over the Past 20 years in Japan.	Fukui T, Maeda K, Rahman M, Morimoto T, Saito M, <u>Matsui K</u> , Shimbo T.	総合臨床 研修センター

小計3

計 119

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 倉津 純一		
管理担当者名	各診療科長 総務・企画課長	黒原 敏博	薬剤部長 齋藤 秀之 医事課長 岩間 吉治

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		総務・企画課 各診療科 中央病歴室	カルテ等病歴資料の管理について、外来診療録は、原則として、最終受診から1年間は当該診療科で管理し、その後は専任の事務職員を配置した「中央病歴室」で、患者ID番号により管理している。 入院診療録は、退院後1か月間は当該診療科で管理し、その後は、同様に中央病歴室で、患者ID番号により管理している。 なお、今後の課題として、1患者1カルテシステムを構築するため、電子カルテ等の導入を計画している。 また、現在、X線フィルムについては、各診療科の責任の下に管理しているが、平成20年4月よりフィルムレスシステムが稼働する予定である。 なお、診療録等を中央病歴室で保管する期限は、原則10年としている。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務・企画課		
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務・企画課		
	高度の医療の研修の実績	総務・企画課		
	閲覧実績	総務・企画課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営・管理課 薬剤部		
	確規保則の第9条の2、3	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医事課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医事課
	及び第11条各号に掲げる体制	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事課		
医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医事課		
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医事課		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医事課		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 赤塚 善一
閲覧担当者氏名	総務・企画課長 黒原 敏博
閲覧の求めに応じる場所	総務・企画課 事務室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	84.0%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A:紹介患者の数	12,113人	
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,931人	
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数	666人	
	D:初診の患者の数	17,494人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、C、の和をBとDの和で除した数に100を乗じて少数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(1)名 兼任(18)名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ◎ 熊本大学医学部附属病院医療安全管理部（平成14年4月1日） <ul style="list-style-type: none"> 1. 医療の安全性の向上に係る企画・立案に関する事 2. 安全管理に係る教育・研修の企画に関する事 3. 医療事故及びインシデントの収集・調査・分析に関する事 4. リスクマネジャーとの連絡調整に関する事 5. 医療事故防止マニュアルに関する事 6. 医療安全管理委員会の庶務に関する事 7. 医療事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導を行うこと 8. 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと 9. 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと 10. 医療安全に係る連絡調整に関する事 11. 医療安全対策推進に関する事 12. その他医療事故の防止、医療の安全性の向上等に関し必要な事項 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理に関する基本的な考え方 <p>熊本大学医学部附属病院（以下「本院」という。）は、適切な安全安心と高信頼性の医療サービスを患者及びその家族（以下「患者等」という。）に提供するために、医療事故（インシデント、アクシデント等）、医薬品管理及び医療機器管理等を踏まえた医療に係る安全管理（以下「医療安全管理」という。）を目指す。</p> <p>また、「人間はエラーを犯す。」ということを前提に、従業者一人一人が医療安全管理に対する高い意識を持ち、関係する各部署及び各委員会等が連携を図り、本院における医療安全管理を推進する。</p> 2. 医療安全管理委員会及びその他の組織に関する基本的事項 <p>病院長を委員長とする医療安全管理委員会を設置し、医療安全管理に係る体制の確保及び安全性の向上に努めるものとする。また、医療安全管理委員会の下に、医療事故、医薬品安全管理及び医療機器安全管理に関し専門的に検討する組織として、医療事故調査専門委員会、医薬品安全管理専門委員会及び医療機器安全管理専門委員会を置くものとする。</p> <p>さらに、医療安全管理委員会及び各専門委員会の任務を支援するため、医療安全管理部を設置し、情報の収集・分析及び方策の企画立案等に当たることとする。</p> 3. 医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 <p>医療安全管理委員会は、従業者を対象とする医療安全管理に関する研修を年2回以上行う。また、医薬品及び医療機器の安全使用等に関する研修については、医薬品安全管理専門委員会及び医療機器安全管理専門委員会が企画・立案し、関係従業者を対象に必要な応じて行う。</p> 4. 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 <p>医療事故調査専門委員会は、医療安全管理委員会から付託された医療事故の原因究明に係る調査及び再発防止策等について審議するものとする。</p> <p>医薬品安全管理専門委員会及び医療機器安全管理専門委員会は、医薬品及び医療機器の取扱い等に関する不具合事象の各種報告にを基に内容を分析し、防止策の検討を行い、安全確保の措置を講ずることとする。</p> 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 <p>医療事故等が発生した場合は、迅速に患者の救命や回復に全力を尽くし、医療安全</p> 	

管理委員会で策定する「医療事故発生時の対応」等に基づき対応することとする。

6. 医療従事者と患者等との間の情報の共有に関する基本方針

(1) 診療情報の提供

医療従事者と患者等とのより良い信頼関係を構築することを目的とし、診療情報の提供等に関する指針（平成15年厚生労働省通知医政発0912001号）に従い、具体的な状況に即した方法により、医療従事者は患者等に対して、次に掲げる事項等について説明することとする。ただし、医療従事者は、患者が「知らないでいたい希望」を表明した場合には、これを尊重することとする。

また、患者が未成年者等で判断能力がない場合には、診療中の診療情報の提供は親権者等に対して行うこととする。

- ① 現在の症状及び診断病名
- ② 予後
- ③ 処置及び治療の方針
- ④ 処方する薬剤について、薬剤名、服用方法、効能及び特に注意を要する副作用
- ⑤ 代替的治療法がある場合には、その内容及び利害得失（患者が負担すべき費用が大きく異なる場合には、それぞれの場合の費用を含む。）
- ⑥ 手術や侵襲的な検査を行う場合には、その概要（執刀者及び助手の氏名を含む。）、危険性、実施しない場合の危険性及び合併症の有無
- ⑦ 当該診療情報が治療目的以外に、臨床試験や研究などの他の目的も有する場合には、その旨及び目的の内容

(2) 指針の閲覧

本指針は、本院のホームページ等に掲載することとする。

7. 患者等からの相談への対応に関する基本方針

患者等からの医療安全管理に関する相談及び苦情については、医療安全管理部が患者相談室と連携し対応する。

8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針

本指針以外に必要な細目は、医療安全管理委員会、医療事故調査専門委員会、医薬品安全管理専門委員会及び医療機器安全管理専門委員会が、別に定める。

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
-------------------------	--------

・ 活動の主な内容:

医療安全管理委員会：月1回開催、医療事故の防止に係る基本方針、予防教育及び研修、医療の安全確保のため調査及び分析並びに再発防止策等の検討及び啓発等する事項を審議する。

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 34 回
--------------------------	--------

(①研修の主な内容)

平成18年度医療安全管理に係る内部研修

研修名	開催日	対象職員職種	参加人員	時間	内容	講師
特別講演会「医療事故をめぐる法的知識」-医療訴訟の防止のため	4月6日	全職員	148	120分	医療安全のための講演会	成瀬 公博 弁護士 (成瀬法律事務所)
特別講演会「医療の質と安全について」-信頼される医師であるために	4月12日	全職員	155	120分	医療安全のための講演会	上原 鳴夫 講師 (東北大学大学院)
感染対策研修会(接触感染予防対策、食中毒を防ぐために)	6月20日	全職員	153	60分	感染対策研修会	多田 限 看護師長 猪原 栄 養管理室長
感染対策研修会(接触感染予防対策、食中毒を防ぐために)	6月26日	全職員	127	60分	感染対策研修会	多田 限 看護師長 猪原 栄 養管理室長
特別講演会「増加する医療事故紛争の現状と課題」	7月5日	全職員	108	120分	医療安全管理のための講演会	水島 幸子 弁護士 (弁護士法人淀屋橋・山上合同)
感染対策研修会(今、なぜ麻酔対策が必要か、今年のインフルエンザ対策のポイント)	10月12日	全職員	172	60分	感染対策研修会	宮川 助手(感染免疫診療部) 川口 助教授(感染免疫診療部) 佐藤 助教授(薬学部)
感染対策研修会(今、なぜ麻酔対策が必要か、今年のインフルエンザ対策のポイント)	10月18日	全職員	207	60分	感染対策研修会	宮川 助手(感染免疫診療部) 川口 助教授(感染免疫診療部) 佐藤 助教授(薬学部)
特別講演会「輸血部門における安全な輸血管理と適正使用」	11月2日	全職員	150	120分	輸血管理と適正使用	紀野 修一 講師 (旭川医科大学)

①救急処置が必要な縦隔胸膜炎 ②MR I検査の安全性について	12月4日	全職員	158	120分	臨床カンファレンス	興橋 教授(呼吸器内科) 橋田 診療放射線技術部門長 (医療技術部)
特別講演会「医療事故の被害者の立場から医療者に望むこと」	2月9日	全職員	449	120分	医療安全管理のための講演会	永井 裕之 講師 (医療の良心を守る会市民の会)
癌治療と診療連携	2月26日	全職員	244	120分	臨床カンファレンス	金光 講師(消化器外科)
		小計	2,071	11回		

研修名	開催日	対象職員職種	参加人員	時間	内容	講師
新規採用(研修医)のオリエンテーション	4月4日	新規採用研修医	43	60分	医療安全管理Ⅰ	川筋 教授
新規採用(研修医)のオリエンテーション	4月11日	新規採用研修医	43	60分	医療安全管理Ⅱ	平野 講師
新規採用者秋季オリエンテーション	12月21日 12月26日	平成18年度新規採用職員	90	290分	医療安全管理について 院内感染防止について 放射線障害防止について	宇宿 教授、医事課長 川筋 教授、弘GRM 川口 助教授、多田 看護師長 山下 教授、橋田 技師長
		小計	176	4回		

研修名	開催日	対象職員職種	参加人員	時間	内容	講師
新規採用者(看護師)オリエンテーション	4月3日	新規採用・中途看護師	93	1日	消防のオリエンテーション	看護部教育委員
	4月4日	〃	96	1日	輸血製剤、IDバンド	安東 中央検査部長代理 米村 講師 菊池 助教授 川筋 教授
	4月5日	〃	96	1日	個人情報保護法 医療安全管理 労働安全衛生管理 薬剤師業務 院内感染対策 医療ガスの取扱い	本田 安全管理室長 本田 副薬剤部長 川口 助教授 川重防災工業(株)東部医装営業部 岡田正 講師 橋田 技師長 右田 看護師長 熊本西消防署指導課長
新人のためのナーズトレーニング	4月10日	新規採用看護師	52	90分	医療安全入門	看護師長
	4月11日	〃	46	90分	医療安全入門	看護師長
	4月20日	〃	23	90分	看護情報	看護師長
	4月21日	〃	24	90分	看護情報	看護師長
	4月24日	〃	24	90分	看護情報	看護師長
	4月26日	〃	52	90分	感染対策	看護師長
	4月27日	〃	46	90分	感染対策	看護師長
	4月28日	〃	24	90分	看護情報	看護師長
	5月2日	〃	94	70分	看護記録	看護師長
	5月10日	〃	31	120分	医療安全基礎	看護師長
	5月11日	〃	36	120分	医療安全基礎	看護師長
	5月12日	〃	33	120分	医療安全基礎	看護師長
	5月19日	〃	92	90分	BLS研修	ICUスタッフ
6月14日	〃	36	90分	医療安全実施編	看護師長	
6月15日	〃	34	90分	医療安全実施編	看護師長	
6月16日	〃	29	90分	医療安全実施編	看護師長	
		小計	961	19回		

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容:
 - ①報告制度について:(職員等への周知方法) インシデントレポートはWeb上で周知する。
 - ②問題点の把握方法: リスクマネージャーにより検討の上、留意点、対応策を添えてWeb上で公開する。
 - ③問題点の分析方法: 医療安全管理部で事例に対する分析を行う。
 - ④改善策の検討方法: インシデント事例に対する職種別傾向等の分析結果を、医療安全管理委員会、医療安全管理部会、リスクマネージャー連絡会議で報告する。医療事故については、書面により報告し、医療安全管理委員会及び医療安全対策に関するカンファレンスで検討する。

